

令和4年8月24日

印旛地区教育研究集会

国語科「書く」分散会提案

研究主題

自分の考えや思いを適切に表現し，伝え合う児童の育成

～表現力を育てる指導の工夫～

—資料編—

四街道市立大日小学校

## 授業実践① 2年生

### (1) 単元の流れ

#### 目的意識をもたせた言語活動<仮説②>

##### ①目的・相手意識をもたせる

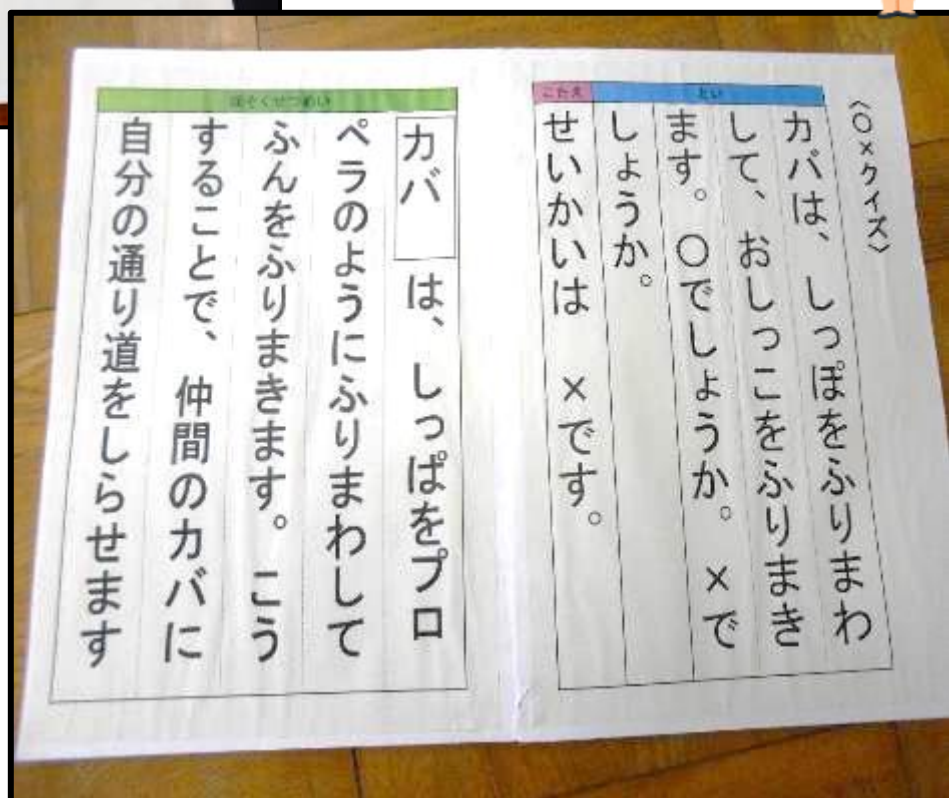


単元の導入で、教師が作った「生きものクイズブック」の見本を見せた。さらに、自分の作ったクイズブックを使って、クラスでクイズ大会を開くことを子ども達に伝えた。この学習の最終的なゴールのイメージを具体的にもたせることができた。また、“生きものクイズブックを作りたい”という児童の意欲を高めることができた。

これから、自分の興味のある生きものについてたくさん調べていこうね！



ぼくは、イルカが好きだから、イルカについて調べようかな。



②学習計画表を掲示する

クイズブックを使って、クイズ大会を開く。



学習の最終的なゴールを知る。

並行読書

(51冊の選定図書一覧を使用)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
クイズ大会をひらく。	「と」「こたえ」をかく。		「ほそくせつめい」を書く。	クイズの作り方をしる。	メモする。 クイズにしたいことを 生きものの本の中から、 クイズにしたいことを			生きものの本を読んで、ページをチェック	生きもののクイズ大会にむけて ながれをしる。

学しゅうけいかくひょう

メモを基に、クイズ作りを行う。クイズは「問い」「答え」「補足説明」の3つについて書く。

51冊の選定図書一覧にチェックしたものの中から、特にクイズにしたいものを選んで、メモに書く。また、クイズに使用する大切な文・大切な言葉にサイドラインを引く。

### ③並行読書

司書教諭に協力してもらい、クイズ作りに適した図書を51冊準備した。それを図書一覧としてまとめた。児童はこの図書一覧を常に机の横にかけ、クイズにしたい情報があるときは、ページをメモさせるようにした。

	本の名前	ページばんごう
1	どうぶつの 目 (ふしぎ発見シリーズ①)	
2	どうぶつのはな (ふしぎ発見シリーズ②)	
3	どうぶつの 口 (ふしぎ発見シリーズ③)	
4	どうぶつの 耳 (ふしぎ発見シリーズ④)	
5	どうぶつのおっばい (ふしぎ発見シリーズ④)	
6☆	くちばしとどうぶつのは (教科書シリーズ①)	
7☆	うみともりのかくれんぼ (教科書シリーズ②)	
8☆	生きものの赤ちゃん (教科書シリーズ③)	
9☆	てきから みをまもる ちえ (教科書シリーズ④)	
10☆	どうぶつビックリくらしかた (アネット・ティゾン)	
11☆	どうぶつなんでも世界一 (アネット・ティゾン)	
12☆	ざりがに (かんさつ名人になろう④)	
13☆	かたつむり (かんさつ名人になろう⑤)	
14☆	だんごむし (かんさつ名人になろう⑥)	
15☆	モルモット・ハムスター (かんさつ名人になろう⑦)	
16☆	「くちばし」図かんをつくろう (やってみようシリーズ①)	
17☆	「どうぶつのはな」図かんをつくろう (やってみようシリーズ④)	
18☆	どうぶつのはな	
19☆	だれの手がた・足がた?	
20☆	クイズ どうぶつのはなと足	
21	ゾウの長い鼻にはおどろきのわけがある! (動物ふしぎ発見)	
22	すごい目玉をもったアザラシがいる! (動物ふしぎ発見)	
23	アライグマの口のなぞが、ついにとけた! (動物ふしぎ発見)	
24	パンダの手にはかくされたひみつがあった! (動物ふしぎ発見)	
25	ホッキョクグマ (どうぶつのはな)	
26☆	なぜ? どうして? 昆虫図鑑	
27☆	調べてみよう名前のひみつ 昆虫図鑑	

☆がついている本は、クイズにしやすいおすすめの本だから、ぼくはそれから読んでみようかな!!



28	どうぶつの目 (どうぶつのからだシリーズ①)	
29	どうぶつの鼻 (どうぶつのからだシリーズ②)	
30	どうぶつの口 (どうぶつのからだシリーズ③)	
31	どうぶつの耳 (どうぶつのからだシリーズ④)	
32	どうぶつのしっぽ (どうぶつのからだシリーズ⑤)	
33	どうぶつの手と足 (どうぶつのからだシリーズ⑥)	
34	こん虫のどうぐ (こん虫のふしぎシリーズ①)	
35	こん虫のかくれんぼ (こん虫のふしぎシリーズ②)	
36	こん虫のこぼ (こん虫のふしぎシリーズ③)	
37	こん虫のへんしん (こん虫のふしぎシリーズ④)	
38	こん虫のおやこ (こん虫のふしぎシリーズ⑤)	
39	みいつけた1 だんごむし	
40	みいつけた2 せみ	
41	みいつけた3 ばった	
42	みいつけた4 てんとうむし	
43	みいつけた5 あり	
44	みいつけた6 ちょう	
45	みいつけた7 とんぼ	
46	みいつけた8 かたつむり	
47	こん虫そだてよう・しらべよう すみか	
48	こん虫そだてよう・しらべよう 体のつくり	
49	はじめての飼育4 ダンゴムシ	
50	はじめての飼育5 コオロギ	
51	はじめての飼育6 モンシロチョウ	

動物の赤ちゃんについて  
クイズを出したいな！  
ページをメモしておこ  
う！



図書は児童がいつでも読める場所に置いた。また、本の表紙には、その本を読むとどのようなクイズを作ることができるのかがわかるようなカードをつけた。それにより、クイズ作りを意識して並行読書を行うことができた。

ざりがにの体やたべもの、  
くらしかたについてのクイズ



だんごむしの体やたべもの、  
くらしかたについてのクイズ



基本的な話型を定着させるための手立て《仮説①》

① 図書を使った調べ学習の方法を知る

図書で調べ学習をすると、文を丸写ししてしまうことがある。そのため、教科書に載っているメモが、丸写しではなく、大切な文・大切な語を選んで書いていることに気づかせるため、実際に「かんさつ名人になろう⑥だんごむし」を準備し、児童に提示した。そうすることで、必要な情報を選定することができるようにした。

本の題名	ここがすごい！	生きもの
「かんさつ名人になろう⑥だんごむし」	めすのおなかにふくろがある。ふくろの中にたまごをうんで、たまごがかえって一週間ぐらいたつと、赤ちゃんが出てくる。	だんごむし

図書にはたくさんの情報があります。その中からクイズにしたい大切な文・大切な言葉を選びましょう。



だんごむしの赤ちゃんのことがいっぱい書かれているね。  
全部書くのではなくて、クイズにしたい文と言葉を選ばないといけないね！



### あかちゃんがたくさんうまれた！

6月ごろ、いっしょにかっているめすとおすが、くっつきあっていました。しばらくたって、めすのからだのうらを見ると、むねのふくら（→11ページ）が黄色くなっていました。これは、たまごです。  
それから1週間もたったころ、ごまつぶくらい、小さくて白いだんごむしがたくさん出てきました。あかちゃんです。  
いつもとちがうごきをするめすがいたら、からだのうらがわを見てみましょう。たまごやあかちゃんがいるかもしれません。

めすとおすが、くっつきあっている！

むねのふくらの中が、たまごでいっぱいだよ。中がすけて、黄色く見えるね。

うらがわが黄色くなっている！

あかちゃんも、おとちのだんごむしと同じように、からだをまわくしてお家もります。まだがらがやわらかく方もいるので、ときにおそわれたらいへんです。

あかちゃんが出てきた！

むねのふくらから、あかちゃんが出てきた！いちどに50〜200ひきも子どもをつむんでって。

お母さんだんごむしと、たくさんのおかちゃん

小さくても、おとなと同じようにしゅっかくろうごかして、一生けんめい歩いているよ。

小さくてもまるくなる！

②メモの書き方を知る

ページ 本の名前	どこをクイズにしようかな？ かんがえておこう。	クイズが すたー たいー	×ーです。ーます。 ○ーた。ーする。	生きものの名前	生きもの
イルカ			のべつ名をバンドウイルカとよぶカはほとんどない。バンドウイルカ	は、ばなのあなが うしかねい。いきをするのが おもなしごと。でもにおいをか くはほとんどない。バンドウイルカ	バンドウイルカ

文末は常体。



こたえは、イルカ。  
バンドウイルカというしゅるい。  
イルカは、クジラのながまです。  
クジラのながまには、  
シロナガスクジラのように、鼻のあなが二つのものと、  
バンドウイルカのように、鼻のあなが一つのものがあります。  
どちらの鼻も、いきをするのが、おもなしごと、  
においをかく力は、ほとんどありません。

□に必ず生き物の名前を書くように指導し、主語と述語を意識させる。

クイズにしたい  
大切な文・・・青  
大切に言葉・・・赤  
にサイドラインをする！  
〈要点を見つける〉

“何の生き物”の“どんな特徴（体のつくり等）”について一番興味があるのか、情報を1つ選びメモをするようにした。

メモに書く際は、原文のどこに重要となる語と文が書かれているのか考えながら書かせるようにし、その際「何が」「どのように」等、主語と述語を落とさずにメモするように指導した。また、できるだけ短い文でまとめるため、常体で書かせるようにした。

メモが書き終わったら、大切な一文（クイズにしたい文、問いになる文）に青のサイドラインを、そのサイドラインをした中で、大切だと思われる言葉（答えに関わる言葉）に赤のサイドラインを引かせ、クイズ作りに向けての準備をした。



③クイズの作り方を知る（定型）

クイズは、「補足説明」→「答え」と「問い」の順で書くように指導した。そうすることで、3つがきちんと対応したものになるようにした。

また、メモの時にサイドライン（問いになる大切な文と答えに関わる大切な言葉）を引いたところを使って、「問い」と「答え」をつくるように指導した。それにより、ほとんどの児童がスムーズに「問い」と「答え」を作ることができた。また、メモと違い、クイズは友達が読むため敬体で書くように指導した。

〈○×クイズの作成のルール〉

○×クイズ	答えが×
もんだい	だんごむしのめすのおなかには、 <u>目</u> が あります。○ てしょうか。×てしょうか。
答え	せいかいは、×です。
せつめい	めすは、おなかの <u>ふくろ</u> の 中に <u>たまご</u> を うみます。た まごが かえって 一週間ぐ らい たつと、赤 ちゃんが <u>ふく</u> ろの 中から 出 て きます。

答えが○  
答えに関わる大切な言葉・・・赤  
を変える！

○×クイズ	答えが○
もんだい	だんごむしのめすのおなかには、 <u>ふくろ</u> が あります。○ てしょうか。×てしょうか。
答え	せいかいは、○です。
せつめい	めすは、おなかの <u>ふくろ</u> の 中に <u>たまご</u> を うみます。た まごが かえって 一週間ぐ らい たつと、赤 ちゃんが <u>ふく</u> ろの 中から 出 て きます。

答えが○  
答えに関わる大切な言葉・・・赤  
を変えない！！

〈三択クイズの作成のルール〉

答えが1つではなく、2つや3つになっていないか、必ずチェックする。

問いに答えが入らないように注意！  
何が？ どこで？ 何を？  
などの言葉に変える！

答えに関わる大切な言葉が、3択問題の答えになるように問いを作る。

三択クイズ	もんだい	答え	せつめい
	だんごのしめすのおなかには、ふくろが あります。中には何が入っているでしょうか。	①えさ ②たまご ③ぬけがら	めすは、おなかのふくろの中に たまごをかえって一週間ぐらいたつと 赤ちゃんが出てきます。



青い線と赤い線を使って、「問い」と「答え」を作るぞ。  
ゴマダラカミキリは、3択クイズにしよう！！



ほそくせつめい		こたえ	とい	こたえ	とい
<p>かたむむり は、大きな大し、かくが二本で、小し、かくが二本であわせて四本あります。大し、かくの先にはあかるをかんじ、る目がついて、います。小し、かくは、おいをかぎ、わかるはなのやくわりをはたします。</p>		<p>① 目 ② 耳 ③ はな</p>	<p>かたむむり の大し、かくの先にはあかるをかんじると、何かついて、いるのでしうか。</p>	<p>① 目 ② 耳 ③ はな</p>	<p>かたむむり の大し、かくの先にはあかるをかんじ、る耳がついて、います。①でしうか。②でしうか。③でしうか。</p>

どの言ばを、クイズにしようかな?

読みじかい言ばで書く。文まつは、～です。～でしうか。  
 □こたえが生きもの名前でないばあいは、といに、かならず生きもの名前を入れる。 だんごむしは、・・・  
 ○ほそくせつめいから、といがつくれたかな? といとこたえは、あっているかな??

ほそくせつめい		こたえ	とい	こたえ	とい
<p>ハムスター は、生まれた時は、二円玉ぐらいの大きさです。まだ目や耳は、とじて、イイ体には、けがなく、おあさんになって、います。ハムスターの、おあさんは、生まれて、すぐ、おあさんのおちちを、のみます。目は、あいて、いませんが、お母さんのお、ぼい、を、かします。そし、イッ、よい、か、です、いつ、き、ます。</p>		<p>① 10円玉 ② 1円玉 ③ 500円玉</p>	<p>ハムスター は、うまれた時は、なん円玉、く、いの、大き、さ、が、し、う、。</p>	<p>① 10円玉 ② 1円玉 ③ 500円玉</p>	<p>ハムスター は、うまれた時は、なん円玉、く、いの、大き、さ、が、し、う、。</p>

どの言ばを、クイズにしようかな?

読みじかい言ばで書く。文まつは、～です。～でしうか。  
 □こたえが生きもの名前でないばあいは、といに、かならず生きもの名前を入れる。 だんごむしは、・・・  
 ○ほそくせつめいから、といがつくれたかな? といとこたえは、あっているかな??

## 目的意識をもたせた言語活動<仮説②>

### ④ペア学習

「問い」「答え」できたらペアでの推敲を行った。1つのクイズを机の真ん中に置き、二人で読み合った。クイズ大会に向けて、①「問い」の文がきちんと友達に伝わるものになっているか、②「問い」と「補足説明」が対応したものになっているか、③「問い」と「答え」が対応したものになっているか、この3点についてペアで推敲し、伝え合った。

○×クイズの文末がちがうよ。  
○×クイズの文末は、“～です。○でしょうか。×でしょうか。”だよ！

マンドリルの色についてきいているけど、「鼻」という言葉を入れないとみんなわからないよ。



みんなが悩むように、三択クイズの①を、別の言葉にしたほうがいいよ！

《児童の変容》

児童①

<p>※ほそくせつめい</p> <p>ナイフのようなくめをします。</p>	<p>こたえ ★ とい</p> <p>たか のくちはしは、えものをつかまへるためのようなくめをしますか。</p> <p>ナイフ、スパーン、ノーク</p> <p>せいかいは、①のナイフです。</p>	<p>こたえ ★ とい</p> <p>たか のくちはしは、ナイフのようなくめをします。</p> <p>○でしようか。×でしようか。</p> <p>せいかいは、○です。</p>	<p>○×クイズ</p> <p>うまれたばかりのパンダの赤ちゃんの体は、もも色○でしようか。×でしようか。</p>
---------------------------------------	--	---	---

事前調査では、○×クイズのみ作ることできた児童  
→学習を通して、図書から情報収集をし、○×クイズも三択クイズも作ることができた。

児童②

<p>ほそくせつめい</p> <p>赤ちゃんのおもちゃは、おもしろいように、ま、白な毛をしています。</p>	<p>こたえ ★ とい</p> <p>せいかいは、②のりんごの赤色です。</p>	<p>こたえ ★ とい</p> <p>ほしよくの赤ちゃんはおもしろいおもちゃです。</p> <p>○でしようか。×でしようか。</p> <p>せいかいは、○です。</p>	<p>三択クイズ</p> <p>生まれたばかりのパンダの赤ちゃんの体は、もも色①もも色②赤色③きいろ</p>
--	--	---	--

事前調査では、三択クイズに答えが入っていた児童  
→学習を通して、答えになる部分を他の言葉に置き換えてクイズを作ることができた。



(2) 児童の作品及び評価の視点

評価A 「補足説明」に書いた情報を正しく用いて「問い」を書いているだけでなく、書き表し方の工夫が見られる。

- ×クイズ・・・「答え」が×になる「問い」を作ることができている。
- 三択クイズ・・・誤答が、「答え」の言葉に関連するような言葉を選んでいる。

評価B 「補足説明」に書いた情報を正しく用いて、「問い」を書いている。

評価C 「補足説明」に書いた情報を用いて、一人で「問い」と作るのは困難。教師の穴埋めを使って書いた。

【評価A】

ほそくせつめい	こたえ	問い	こたえ	問い
オボッサム はカンガルーのようにならね ろをでもつどうぶつのはがまです。オボッサ ムは夜にかつどうします。えものになるね ずみなどたばまてきくにて食たりおとろい たいするとはたいしたおれくしんだぶりを ますのこうしてきけんがなくなるのをまつの です。	正しいは②のしんだぶりをするです。	①走ってはいいる②おれくしんだぶりを うつか。	オボッサム はてきくであたりお たりするとはしてにけるのでしょうか ではうか。	オボッサム はてきくであたりおとろい たりするとはしてにけるのでしょうか ではうか。

（三択クイズ）

（○×クイズ）

国みじかい言葉で書く。文まつは～です。～でしょうか  
口こたえが生きもの名前でないばあいはい、といに から 生きもの名前  
を入れる。 だんごむしは、・・・  
ほそくせつめいから といがつくれたかな？ とい がつてい  
るかな？

誤答である①③に、正当である②に似たような言葉を書くことができている。

赤い線を引いた言葉を、別の言葉に変えて、答えを×にしている。



【評価B】

ほそくせつめい		とい	
寺 時 も つ づ け ま す。		サ ト ウ ク シ ラ の オ ス は 、 う た を う た た て プ ロ ポ ー ズ を し ま す。 一 キ よ く 三 十 分 も か か る な が い っ た を 何 時 も つ づ け ま す。	
こたえ		とい	
正 か い は 、 ○ で す。 。		サ ト ウ ク シ ラ の オ ス は 、 う た を う た た て プ ロ ポ ー ズ を し ま す。 ○ で し ょう か。 × で し ょう か。	

主語や述語，文末を意識して書く  
ことができている。

「補足説明」に書かれた情報を基  
に，正しく「問い」を作ることが  
できている。

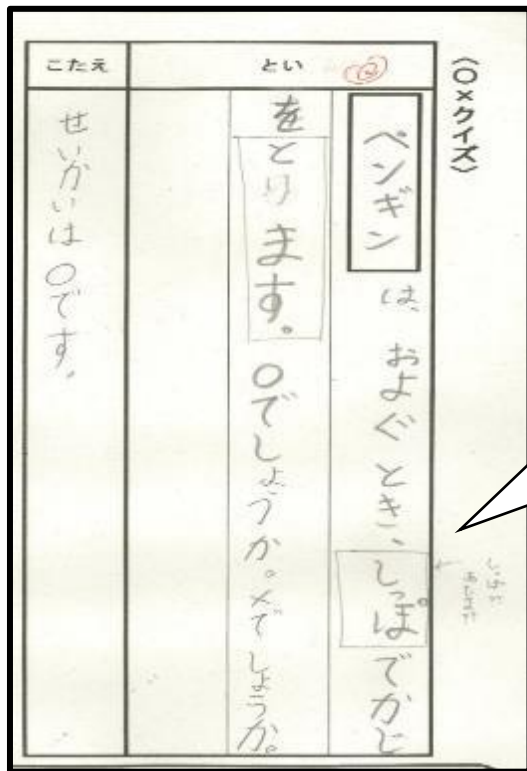
「補足説明」「答え」「問い」がしっ  
かりと対応している。

【評価C】

ほそくせつめい	こたえ	とい	②
<p>花かまきりははらの花にそっくりです。由かまきりか えて花かまきりにとよろうとするとおそ ろしいかまきりといっしょのうちいつかまきりま あます。</p>	<p>① コスモス ② バラ ③ ラムの花 正かいは③のラムの花です。</p>	<p>花かまきりは、何の花にそっくりでしょうか。</p>	<p>三たくクイズ</p>
<p>どのクイズに</p>		<p>みじかい言ばで書く。文 こたえが生きものの名前 を入れる。 だんごむ ほそくせつめいから と るかな？</p>	

花かまきりはらの花にそっくりです。

この文を使って問いを作り，“らの花”を答えにしようとしていた。しかし、この文をそのまま使って「問い」を作ると、「答え」を書いてしまうことになるので困っていた。「答え」となる言葉は、「問い」には書かず、その言葉のかわりに，“何に”を使えばよいことを助言した。



外国籍児童や、国語をととても苦手としている児童に関しては、教師が穴埋めする欄を作った。  
O×クイズを作る際は、穴埋めする言葉を変えるように助言した。

### (3) 授業者反省

- 司書教諭に協力してもらったことで、クイズを作成するのに適した図書が51冊もあった。  
それにより、並行読書がとても充実したものになった。
  - クイズ作りに適した図書を準備したことにより、“うさぎ”の“耳”等，“生き物”の“1つの特徴（体のつくり等）”に絞ってメモを書くことができた。
  - 「質問コーナー」を作ったことにより、一つ一つの言葉を意識した読みをすることができた。
  - メモとクイズ作りのワークシートに、生き物の名前を書く欄を作ったことにより、主語を意識して文を書くことができた。
  - メモの際に、「問い」になる大切な文と「答え」に関わる大切な言葉にサイドラインを引いたことにより、スムーズに「問い」と「答え」を作ることができた。
  - 「補足説明」→「答え」と「問い」の順番で書いたことにより、3つがしっかりと対応したものとなった。
- O×クイズを作る際、答えが×になる場合の「問い」を作るのが難しかった。
  - 三択クイズを作る際、「答え」となる言葉をそのまま「問い」に入れてしまう児童が見られた。  
“何が”“何を”“どこで”“どのように”など、別の言葉に置き換えることができる支援が必要だった。
  - 外国籍や国語を苦手としている児童は、穴埋めにして「問い」と「答え」を作成した。他の支援の仕方も考える必要があった。

## 授業実践② 6年生

### (1) 単元の流れ

#### 目的意識をもたせた言語活動<仮説②>

##### ①絵本を使った導入

本題材は、教科書で約20ページにわたる物語である。実態を踏まえると、長文という点で苦手意識を感じたり、意欲が低下したりする児童もいると考え、絵本に使われている絵をスライドショーで大型テレビに提示しながら内容の読み聞かせを行った。

児童の様子としては、画面に注目して話を聞いている児童と手元の教科書の文を目で追いながら絵を参考にしている児童が半分ずついた。



#### 【初発の感想】

- ・子ぎつねは、なぜ鉄砲をほしがったのか。
- ・「ぼく」は、なぜききょうの花畑に行けたのだろう。
- ・「ぼく」の気持ちが「きつねをしとめよう」から「お礼をしたい」という良い方向に変わっていった。



物語について初発の感想を書いた後、「もし、自分がきつねの窓をもっていたら、何が見えると思うか」について、自分の考えを書いてまとめるという単元を通した目的を知らせた。

## ②学習計画表の掲示

単元の始めに学習計画表を提示し、物語の読み取りを通して、自分の考えを書く活動に取り組むというゴールの確認を行った。ワークシートのファイリングを兼ねた振り返りカードにも同じものを貼り、単元の見通しが持てるようにした。

自分の考えを文章にまとめ、発表する。

思考ツール（クラゲチャート）を用いて読みを深める。

「きつねの窓」の学習を通して、最終的には、自分の考えを書いてまとめることを知らせる。

八	七	六	五	四	三	二	一
自分の想像した「窓」について発表し、友達と交流し合う。	「きつねの窓」を自分が持っていたら、どのようなものが見えるか考える。	「窓」に映ったものについて、「ぼく」の観点で整理する。	「窓」に映ったものについて、子ぎつねの観点で整理する。	不思議な世界に行ったことで、「ぼく」にどのような変化があったのか話し合う。	子ぎつねに対する「ぼく」の気持ちの変化を読み取る。	子ぎつねに対する「ぼく」の気持ちの変化を読み取る。	・ファンタジー作品の持ちようを知る。 ・「きつねの窓」を読んで、学習の見通しをもつ。

思考ツール（クラゲチャート）を用いて自分の考えを整理する。

物語の流れを読み、登場人物の心情の変化を捉える。

③物語全体の内容把握

はじめに、物語の場面分けをし、登場人物である「ぼく」の心情を個々で読み取り、ワークシートにまとめる活動を行った。その後、個人が読み取った内容を全体で共有しながら要点をおさえていった。場面で区切って確認することで、最初と最後でどのような変化があったのか、その変化は、どのようなきっかけによるものなのかに気づきやすくなった。

前半部（子ぎつねが指を染める提案をしてくる場面まで）は、「子ぎつね＝獲物」として捉えている

- ・「きつねをしとめたい」
- ・「だまされたふりをしよう」

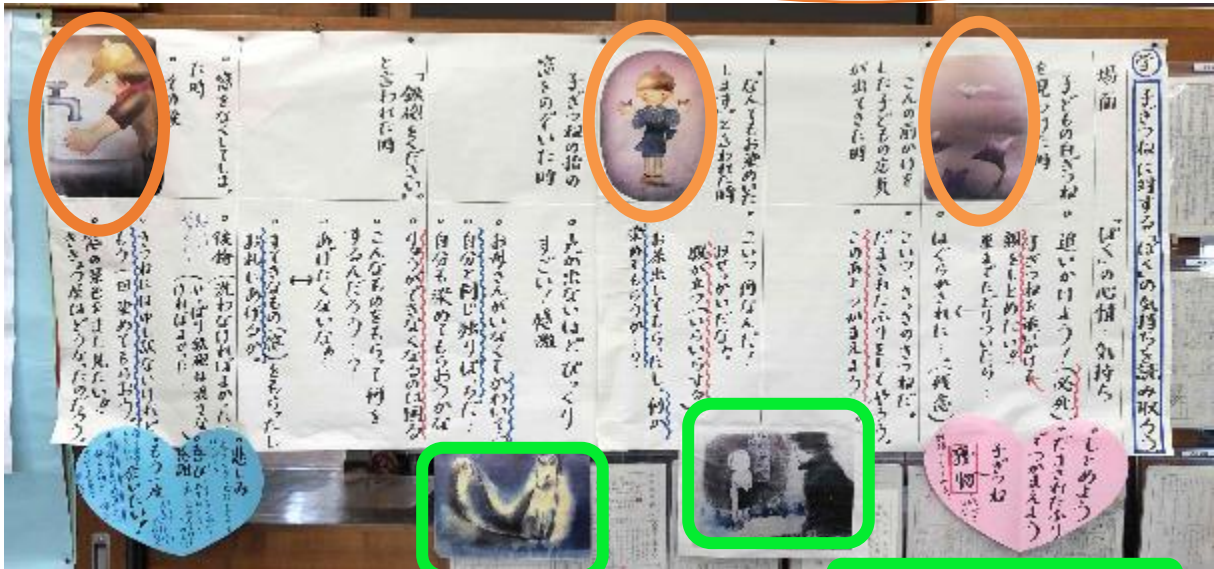
<p>「ぼく」の心情・気持ち</p> <p>子ぎつねに対する「ぼく」の気持ちを読み取ろう。</p>	<p>「ぼく」の心情・気持ち</p> <p>きつねのあとも遠く親をさがす（きつねの姿が見えなくなると）</p>	<p>「ぼく」の心情・気持ち</p> <p>きつねのあとも遠く親をさがす（きつねの姿が見えなくなると）</p>	<p>「ぼく」の心情・気持ち</p> <p>きつねのあとも遠く親をさがす（きつねの姿が見えなくなると）</p>
<p>なんでもあやめたいです。と言われた時</p>	<p>なんでもあやめたいです。と言われた時</p>	<p>なんでもあやめたいです。と言われた時</p>	<p>なんでもあやめたいです。と言われた時</p>

<p>場面</p> <p>子ぎつねの窓を見た時</p>	<p>場面</p> <p>鉄砲をくたささいと言われた時</p>	<p>場面</p> <p>窓をなくしてしまつた時</p>	<p>場面</p> <p>窓をなくしてしまつた時</p>
<p>「ぼく」の心情・気持ち</p> <p>親がきつねがセッテたことも知つた時、とても悲しい話した。このことに感激した。</p>	<p>「ぼく」の心情・気持ち</p> <p>ぼくも大切なんをうしろたがさこそ共感アタタこと人間にこうされたお母様のかたさアもとううんしてゐるのたううか？...</p>	<p>「ぼく」の心情・気持ち</p> <p>もう一度だけ指を染めてほしい</p>	<p>「ぼく」の心情・気持ち</p> <p>もう一度だけ指を染めてほしい</p>

後半部（子ぎつねにきつねの窓をもらってから失うまで）は、子ぎつねへの同情や感謝の気持ちが生まれ、変化してきている。

- ・「ぼくもひとりぼっちだ」
- ・「もう一度窓の景色を見たい」

絵本の中で出てきた絵



教科書に出てきた絵

導入時に用いた絵本や教科書に掲載された挿絵を提示しながら展開することで、場面の様子や登場人物の気持ちが想起しやすくなるようにした。

また、物語の流れや場面の様子を振り返れるよう常時掲示し、読みを深める際に活用した。

#### ④並行読書ができる環境

司書教諭に協力してもらい、「きつねの窓」の作者である安房直子さんの本を31冊準備した。朝の読書タイムや時間のある時に読めるよう、教室後方に置き、ファンタジー作品に触れやすい環境づくりを行った。



読書が好きな児童だけでなく、苦手意識のある児童や日本語の読解が難しい児童でも手に取りやすいよう、文庫本の他、絵本や短編集など、様々な種類の本を準備した。

#### 【並行読書の候補一覧】

1	青い花
2	あめのひのトランペット
3	うぐいす
4	うさぎのくれたバレエシューズ
5	おしゃべりなカーテン
6	風と木の歌
7	きつねのゆうしょくかい
8	グラタンおばあさんとまほうのアヒル
9	白いおうむの森
10	すずめのおくりもの
11	たんぽぽ色のリボン
12	天の鹿
13	遠い野ばらの村
14	なくしてしまった魔法の時間
15	ねこじゃらしの野原
16	はるかぜのたいこ
17	まほうをかけられた舌
18	やさしいたんぽぽ
19	ライラック通りのぼうし屋
20	わるくちのすきな女の子

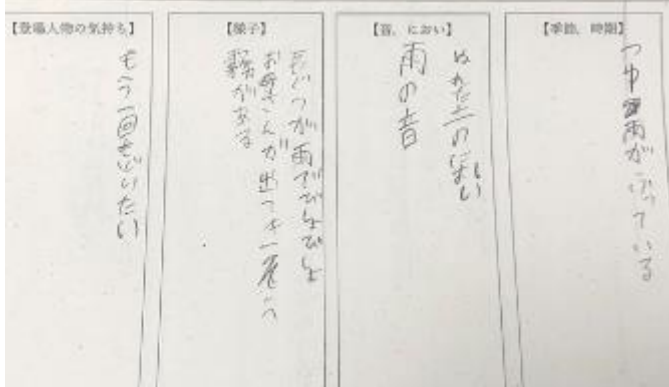
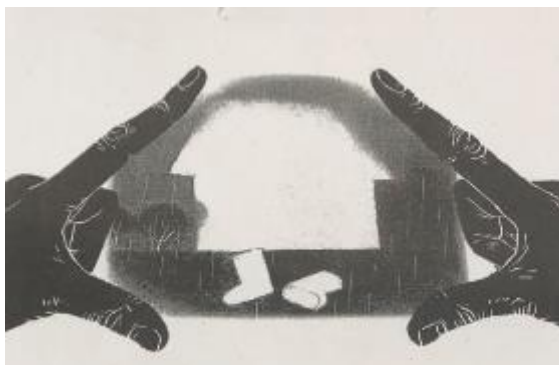
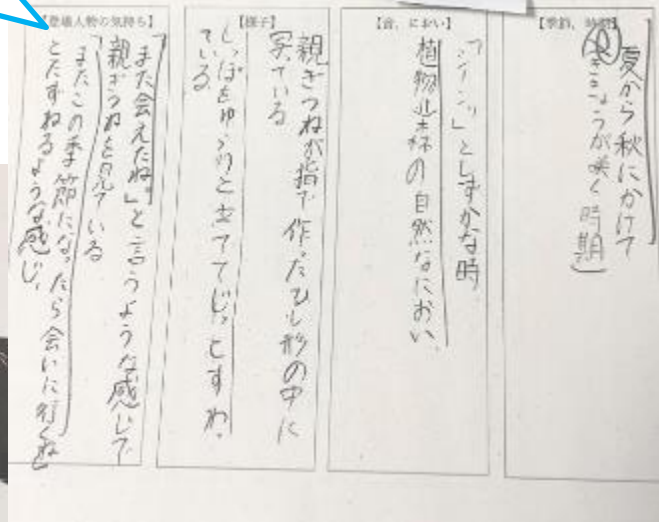
## 語彙を増やし，話型を定着させる活動《仮説①》

①思考ツールの活用 ～教材文「きつねの窓」の読み取り～

この物語におけるファンタジーの世界観を具体的に読み取れるよう，クラゲチャートを使用したワークシートを作成した。今回は，クラゲの頭の部分に指で作った窓の形と映ったものの絵を当てはめ，足の部分を4つの視点で整理できるようにした。「季節・時期」「音・におい」「様子」「登場人物の気持ち」の4点は，絵の様子や本文の読み取りからわかりやすいと考え，設定した。本文の内容を根拠にして時期や季節を予想したり，自分なりに想像を膨らませ，言葉を付け足して，より具体的なイメージを表現したりする児童が多くいた。困っている児童には，言葉を引用してもよいことを伝え，教科書の該当する部分を助言した。

教科書に直接描写のない子ぎつねの気持ちや窓の景色の時期，においなどを想像して書いている。

- ・ききょうが咲く時期
- ・森の自然なにおい
- ・「また会えたね」という感じ

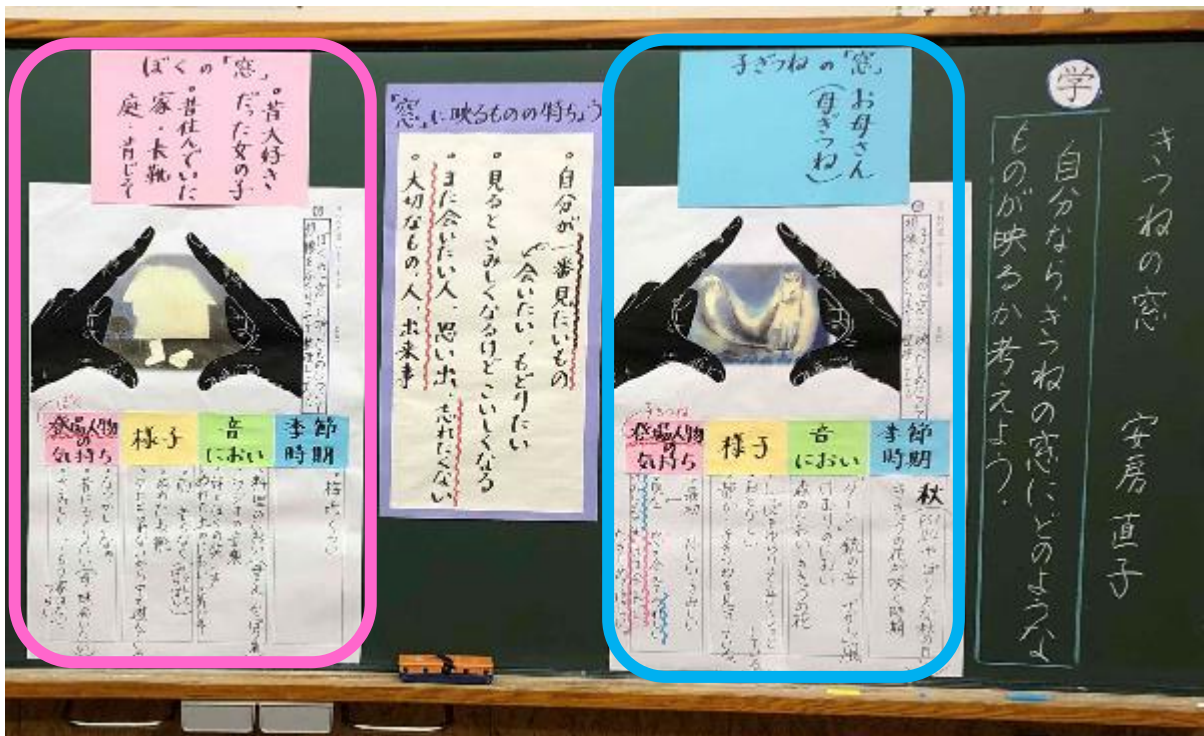


教科書の引用が中心だが，短い言葉で書き抜いたり，絵をもとに考えたりしている。

- ・雨がふっている一つゆ
- ・長靴が雨でびしょびしょ
- ・もう一回もどりたい



個々のクラゲチャートを全体で共有しながらまとめたもの



ぼくにとっての「窓」の読み取り

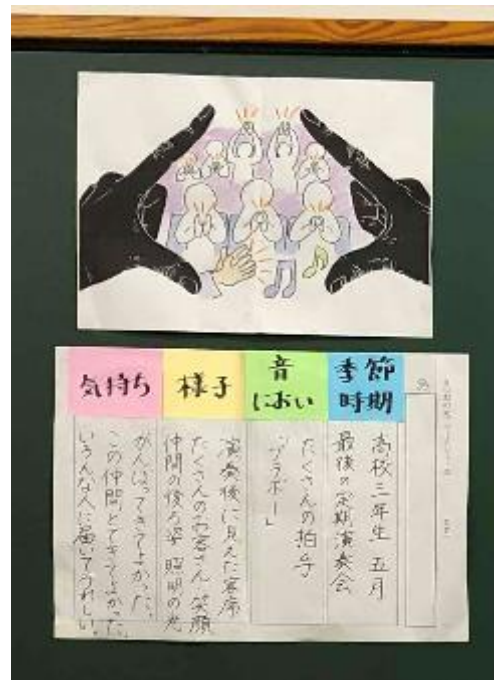
子ぎつねにとっての「窓」の読み取り

**目的意識をもたせた言語活動《仮説②》**

⑤教師見本の提示

物語の読みを深めた後、同じ形式のワークシートを活用して、自分の経験をもとに「窓」について考える活動に入った。

まず、教師見本の絵を提示しながら、「窓」に関する発表をした。その後、クラゲチャートの足の部分を見せて本時に関わる説明をしたことで、活動の見通しと本時の意図が伝わった。



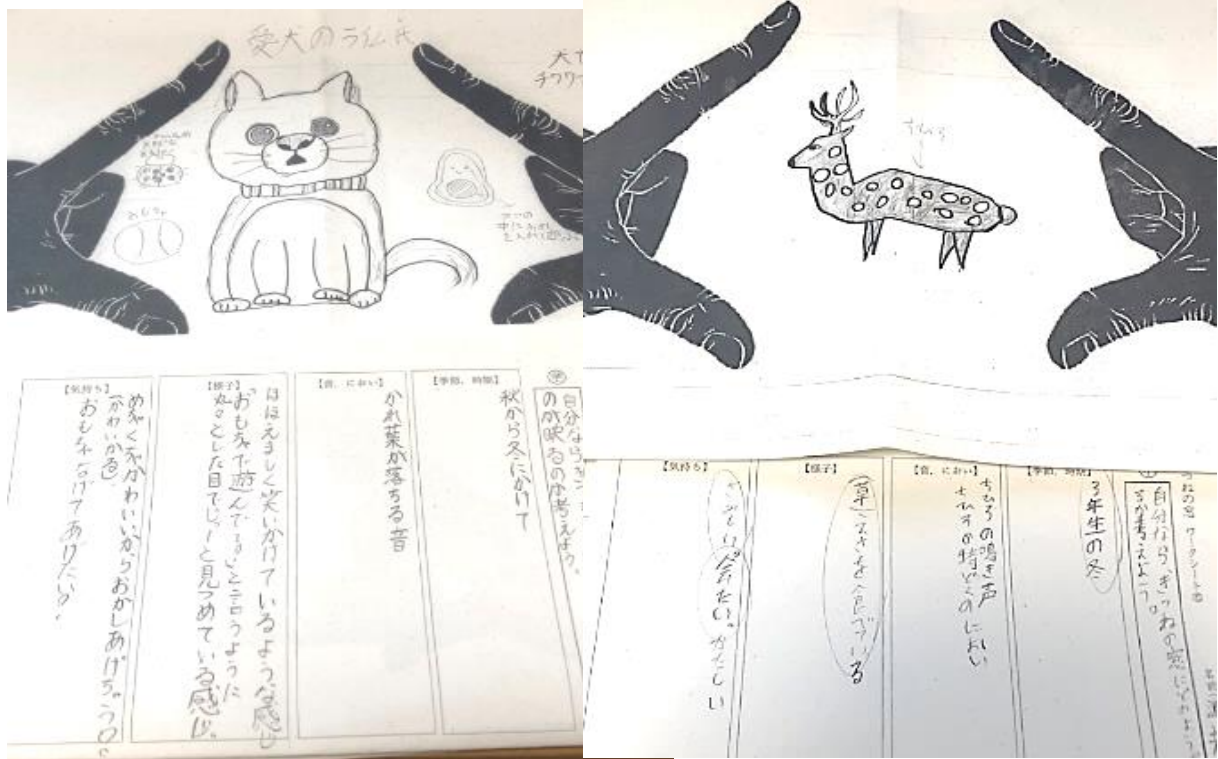
クラゲチャートの足の部分には、文章ではなく、キーワードで書いていこう。短い言葉で書くことができれば、発表の文章作りにもつながるね！



## 語彙を増やし，話型を定着させる活動《仮説①》

②思考ツールの活用～自分の経験から考えを整理する～

別紙に書いた「窓」を通して見えると思うものの絵について，なぜその場面を選んだのか，どのような状況だったのかなど，具体的に表現することをねらいとした。そのため，「季節・時期」「音・におい」「様子」「自分の気持ち」の4つの視点を提示し，文章で伝えるための素材がなるべく多く出せるようにした。徐々にクラゲチャートの記入にも慣れ，「窓」に映るものについての特徴を具体的に書いたり，物語の内容を基盤としながら，自分の経験を言葉に表したりすることができた。



## 目的意識をもたせた言語活動《仮説②》

⑥小グループでの活動

自分が「窓」を通して見えると思うものについて，4つの視点で書いた内容を友達と見せ合い，交流する場を設けた。ここでは，具体的に書けている点やより詳しく知りたいと思う点について助言をするよう伝えた。これにより，自分の思いや考えを相手に伝えるには，どのような言葉・表現がふさわしいのか改めて考える様子が見受けられた。語彙の少ない児童も，友達のワークシートや助言をふまえ，自分なりに言葉を引き出し，書き足していた。



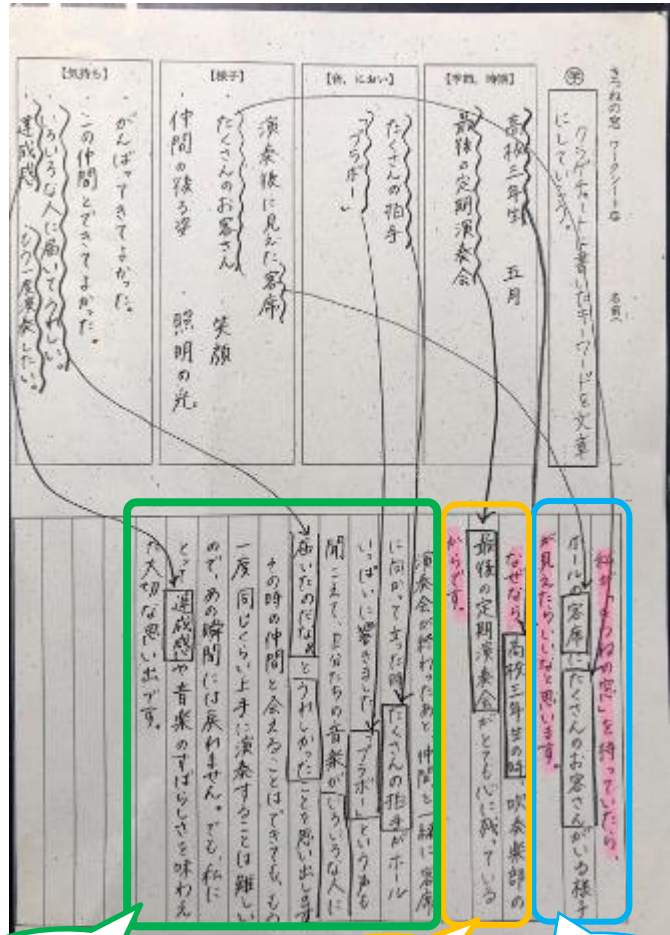
## 語彙を増やし，話型を定着させる活動《仮説①》

### ③思考ツールの活用～キーワードから文章を組み立てる～

クラゲチャートが完成した後は，キーワードをもとにして，相手に伝わるような文章にすることをねらいとした。大まかな構成として，①自分が「窓」に見えると思うもの，②それが見えると思う理由，③具体的なエピソード（説明や思い出など）の3つの要点を伝えた。また，どのように文章を組み立てたのかが視覚的にわかるよう，教師モデルを提示した。

クラゲチャートの足の部分に書いた言葉が文章中のどの部分につながっているのかを線でつないだ補助プリント

低位の児童には，書き出しや理由につながる表現（私が「きつねの窓」を持っていたら～が見えたらいいと思います。なぜなら～からです。）を助言した。



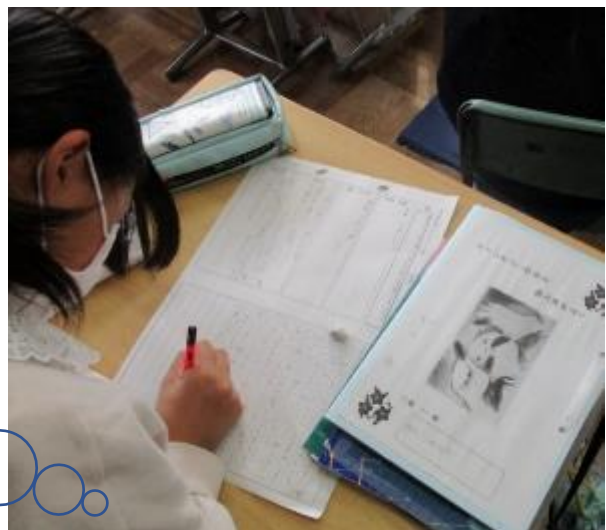
③説明

②理由

①もの

発表する時には，どのように  
伝えたらわかりやすいだろう…。

クラゲチャートに書いた言葉を使い  
ながら，発表の文章をつくってみよう。



《自分の想像した「窓」について発表する様子》



自分が「窓」を通して見えると思うものについて描いた絵を大型テレビに映し、具体的な理由や自分の思いをまとめた文章を読んで発表した。

活動後の児童の感想では、「読んだ物語は同じでも、人によって窓に見えると思うものが違った」「人それぞれ大切なものや思い出がいろいろあるとわかった」といった内容が挙げられた。

(2) 児童の作品及び評価の視点

評価A クラゲチャートに書いた言葉を活かし、内容の追加・補足をしながら自分の考えを文章にまとめている。

評価B クラゲチャートに書いた言葉を使って、自分の考えを文章にまとめている。

評価C クラゲチャートに書いた言葉から、自力で文章にまとめるのは難しい。  
→教師モデルを参考に助言をしながら、文章にまとめた。

【評価A】

クラゲチャート

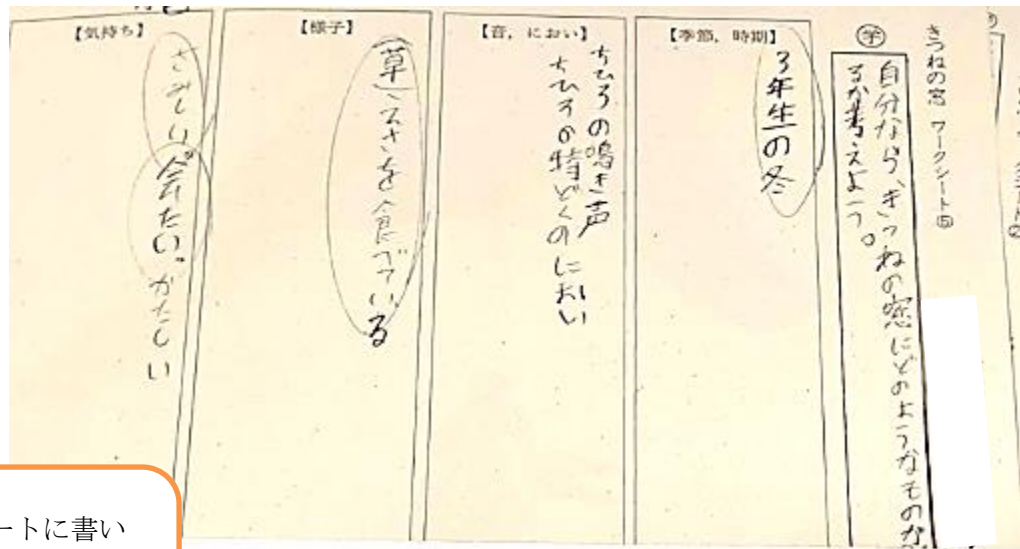
【気持ち】 めろくをかわいいかうおかしあげらうの かわいがる おもしろくてありたい。	【様子】 ほほえましく笑いかけているような感じ おもしろくて遊んでる感じが丸々とした目でじーと見つめている感じ。	【音・におい】 かれ葉が落ちる音	【季節・時期】 秋から冬にかけて	⑤ 自分の考えワークシート⑤ 自分ならきつねの感じにどのようにも のび映るのか考えよう。
---	--	---------------------	---------------------	---

私の窓に見えるものは受犬のライム氏  
です。  
なせなら私が産まれる前からライム氏はトッ  
いつも私のそばにいてくれるからです。  
うれしい時もあるし時もあるしライム氏がいる  
ことでがんばろうという前ぶるな気持ち  
にれたり、ライム氏と遊ぶ時おもしろ  
とりに行ったり、おもしろく遊べるからです。  
心の病気でもう長く生きることはでき  
せん。だんだん目も悪くなつてもういつか  
私の顔を見させてあげることができなくなる  
時がいつかおこすれます。  
一日一日を大切にこれから前ぶるに  
歩んでいこうと思います。  
かきかいてきた中で楽しんだたくさんして  
いこうと思おう大切なそんなかんじです。  
お腹を見せたり  
おさんぽに行ったり

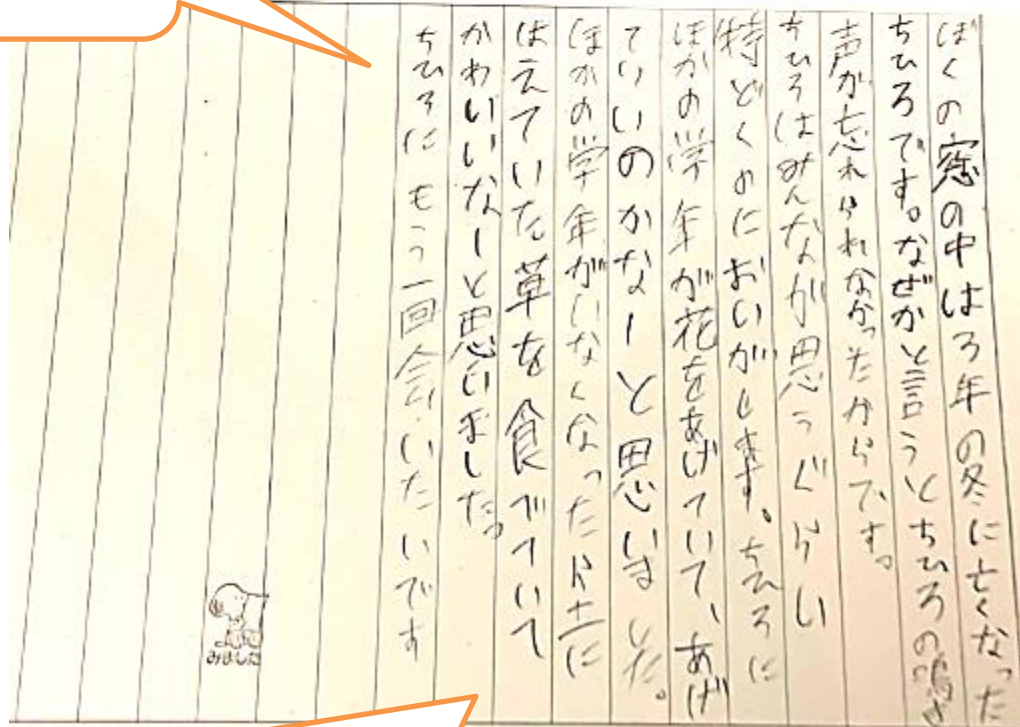
クラゲチャートに書いたキーワードを基にしながら、より具体的に文章を組み立てている。

自分の文章を読み直して推敲し、言葉を選んだり順序を変えたりしている。  
文章を整え、より相手にわかりやすく伝えようとしている。

【評価B】



クラゲチャートに書いたキーワードを使って文章を組み立てている。



「窓」に見えると思うものとその理由、様子が具体的に書いてある。

【評価C】

きつねの窓 ワークシート⑥ 名前)

⑤ 自分からきつねの窓にどのよう  
か映るか考えよう。

【季節、時期】 春 2021年5月15日

【音、におい】 シンクのにおい、  
ほえている。

【様子】 はしっていてあそんでいる  
様子

【気持ち】 会いたいか)

ぼくがきつねの窓を持っていた  
死んだ犬のようすが見ええたら  
いいなと思いましたが、  
おびながら会いたいかと思っ  
たか  
です。  
2021年5月15日かっていたマリ  
ンが  
なくかった。  
ぼくがほえているのは、シンク  
のにおいほえている様子か  
うづているからです。

なかなか言葉が思い浮かばず、「窓」に何が映ると思うのか、それはなぜか、など話の中から引き出していった。

自力で文章にするにも、何をどのように書いたらよいか困っていた。  
書き出しの文や大まかな攻勢を伝え、クラゲチャートのキーワードをつなげていくよう助言した。

### (3) 授業者反省

- 視覚から入る児童もいるため、掲示物の色分けがしてあることで、見やすくわかりやすい板書になった。
- 物語の読み取りと自分の考えをまとめる際に同じ形式のワークシートを使ったことで、これまでの内容を踏まえながら、想像を膨らませて書いたり、より具体的な言葉で書いたりしようとする姿が見られた。
- ワークシートに思考ツール（クラゲチャート）を取り入れたことで、様子や自分の気持ちを短いキーワードで具体的に書けていた。文章を書く上で有効なメモとなった。
  
- 物語の主旨を読み取れても、自分の考えをまとめる活動では、何を書けばよいか思い浮かばず、題材を決めるまでに時間のかかった児童が多くいた。絵や文で表しにくい時は、ペアやグループで会話をしながらイメージをもち、話題を引き出していくという方法も有効だと考えられる。
- 書くことが苦手な児童は、教師見本があっても、言葉をつなげて文章を組み立てるのが難しいことが分かった。クラゲチャートに書いた単語をつなげるだけになってしまう児童には、ウェビングマップ等の思考ツールを活用し、さらに言葉を増やし広げていく必要があると考えられる。また、実態に応じたワークシートを複数用意し、選択できるような環境を作ることも有効だと考えられる。